



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月2日

上場会社名 安田倉庫株式会社  
コード番号 9324 URL <https://www.yasuda-soko.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 一成

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荒川 昌幸

TEL 03-3452-7311

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,648	7.8	569	11.0	726	2.2	406	12.5
2024年3月期第1四半期	16,366	13.8	513	4.4	710	11.2	464	9.7

(注)包括利益 2025年3月期第1四半期 1,939百万円 ( %) 2024年3月期第1四半期 5,180百万円 (3,435.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	14.02	
2024年3月期第1四半期	16.04	

(注)2024年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	205,592	91,425	44.3
2024年3月期	211,656	93,792	44.1

(参考)自己資本 2025年3月期第1四半期 91,018百万円 2024年3月期 93,405百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		13.50		14.50	28.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	6.4	1,000	12.4	1,650	12.5	1,000	14.9	34.53
通期	72,000	6.8	2,800	5.9	4,000	1.2	2,550	10.7	88.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	30,360,000 株	2024年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,396,002 株	2024年3月期	1,396,002 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	28,963,998 株	2024年3月期1Q	28,964,055 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響、中国経済の先行き懸念など景気の下振れリスクはあるものの、企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられ、緩やかに回復しています。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きに回復の兆しは見られるものの、エネルギー・原材料価格高騰の影響や労働力不足への対応など予断を許さない状況であり、また、不動産業界では都市部におけるオフィスビルの空室率は高い水準が続いており、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための計画として中期経営計画「変わらず、変える。YASDA Next Challenge 2024」を策定し、事業体制の構築と更なる成長を目指してまいりました。物流事業においては、付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充により取引の拡大や物流施設の拡充や増強など事業基盤の強化を推し進め、また、不動産事業においては、保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じ、稼働率の維持・向上や保有不動産の再開発促進に努め、事業拡大を推進してきました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、物流事業、不動産事業とも堅調に推移し、営業収益は、前年同期比1,282百万円増（7.8%増）の17,648百万円、営業利益は、前年同期比56百万円増（11.0%増）の569百万円、経常利益は、前年同期比15百万円増（2.2%増）の726百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、リニューアル工事に伴う固定資産廃棄損の増加等により、前年同期比58百万円減（12.5%減）の406百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、新規取引の開始や既存顧客の取引拡大、倉庫・輸配送ネットワークの拡充などにより倉庫保管料、作業料、陸運料、国際貨物取扱料で増収となり、営業収益は前年同期比1,262百万円増（8.4%増）の16,231百万円、セグメント利益は前年同期比170百万円増（23.5%増）の898百万円となりました。

不動産事業では、施工工事の増加により、営業収益は前年同期比30百万円増（2.1%増）の1,524百万円となりましたが、不動産賃貸料の減少により、セグメント利益は前年同期比56百万円減（11.1%減）の448百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に投資有価証券の時価評価の減少と営業未収金の回収等により、前連結会計年度末に比べ6,063百万円減の205,592百万円となりました。

負債については、主に営業未払金の減少と投資有価証券の時価評価減少に伴う繰延税金負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,696百万円減の114,167百万円となりました。

純資産については、主にその他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ2,367百万円減の91,425百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント増の44.3%となりました。

なお、当社グループは長期借入金の調達にあたり、調達額の一定割合に対して格付上の資本性認定を受けることが出来る劣後特約付ローンによる資金調達を行っており、同ローンの資本性を考慮した格付上の自己資本比率は49.7%となります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ359百万円減の16,984百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の回収や減価償却費の資金留保により、2,607百万円増（前年同期は1,340百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により、1,492百万円減（前年同期は2,921百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の返済や配当金の支払いにより、1,609百万円減（前年同期は1,007百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、概ね計画通り推移しております。従って、連結業績予想については、2024年5月7日発表の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,389	17,235
受取手形及び営業未収金	13,232	11,811
商品	2,471	2,471
その他	2,127	1,204
貸倒引当金	△2	△86
流動資産合計	35,218	32,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,711	48,540
機械装置及び運搬具(純額)	2,748	2,735
工具、器具及び備品(純額)	894	879
土地	43,489	43,551
建設仮勘定	431	419
有形固定資産合計	96,274	96,126
無形固定資産		
のれん	4,986	5,728
借地権	1,016	1,016
その他	3,181	3,132
無形固定資産合計	9,183	9,876
投資その他の資産		
投資有価証券	66,545	62,733
繰延税金資産	589	583
退職給付に係る資産	1,338	1,365
その他	2,543	2,306
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	70,979	66,952
固定資産合計	176,438	172,955
資産合計	211,656	205,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	7,262	5,934
短期借入金	4,526	4,521
1年内償還予定の社債	282	273
1年内返済予定の長期借入金	5,029	4,966
未払法人税等	524	214
未払費用	1,861	1,699
その他	2,846	2,320
流動負債合計	22,333	19,930
固定負債		
社債	16,537	16,522
長期借入金	50,675	49,679
繰延税金負債	20,533	19,413
退職給付に係る負債	2,190	2,235
長期預り敷金保証金	4,189	4,136
その他	1,403	2,249
固定負債合計	95,530	94,236
負債合計	117,863	114,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,814	2,814
利益剰余金	43,112	43,096
自己株式	△1,175	△1,175
株主資本合計	48,353	48,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,822	41,174
為替換算調整勘定	242	545
退職給付に係る調整累計額	986	961
その他の包括利益累計額合計	45,051	42,680
非支配株主持分	387	406
純資産合計	93,792	91,425
負債純資産合計	211,656	205,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業収益		
保管料	2,494	2,515
倉庫作業料	2,417	2,468
陸運料	6,464	7,434
国際貨物取扱料	1,705	2,170
物流賃貸料	487	522
不動産賃貸料	1,200	1,110
その他	1,596	1,426
営業収益合計	16,366	17,648
営業原価		
作業費	6,579	7,317
人件費	3,375	3,688
賃借料	1,016	1,029
租税公課	320	330
減価償却費	920	1,058
その他	2,300	1,990
営業原価合計	14,512	15,417
営業総利益	1,853	2,231
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	531	645
福利厚生費	82	97
退職給付費用	15	11
減価償却費	117	96
支払手数料	141	156
租税公課	39	51
その他	412	602
販売費及び一般管理費合計	1,340	1,661
営業利益	513	569
営業外収益		
受取利息	0	15
受取配当金	275	251
為替差益	17	71
雑収入	68	50
営業外収益合計	362	389
営業外費用		
支払利息	152	218
借入関連費用	7	7
雑支出	4	6
営業外費用合計	164	232
経常利益	710	726



(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	20	17
特別利益合計	20	17
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産廃棄損	2	21
貸借契約解約損	-	13
特別損失合計	2	35
税金等調整前四半期純利益	728	708
法人税、住民税及び事業税	198	225
法人税等調整額	65	60
法人税等合計	263	285
四半期純利益	464	422
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	464	406

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	464	422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,602	△2,647
為替換算調整勘定	129	311
退職給付に係る調整額	△16	△25
その他の包括利益合計	4,715	△2,361
四半期包括利益	5,180	△1,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,172	△1,964
非支配株主に係る四半期包括利益	8	24

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	728	708
減価償却費	1,037	1,155
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	83
退職給付に係る資産負債の増減額	△50	△23
受取利息及び受取配当金	△276	△267
支払利息	152	218
固定資産廃棄損	2	21
売上債権の増減額(△は増加)	△256	1,563
棚卸資産の増減額(△は増加)	260	-
仕入債務の増減額(△は減少)	331	△1,379
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	30	△53
その他	△218	1,004
小計	1,740	3,031
利息及び配当金の受取額	275	268
利息の支払額	△151	△195
法人税等の支払額	△524	△497
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,340	2,607
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△214
定期預金の払戻による収入	16	10
有形固定資産の取得による支出	△2,668	△1,216
有形固定資産の売却による収入	26	22
無形固定資産の取得による支出	△25	△45
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△256	-
その他	△13	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,921	△1,492
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	120	220
短期借入金の返済による支出	△124	△224
長期借入れによる収入	180	100
長期借入金の返済による支出	△689	△1,199
社債の償還による支出	△24	△24
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△386	△415
その他	△81	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,007	△1,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	88	134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,500	△359
現金及び現金同等物の期首残高	15,101	17,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,600	16,984

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	14,965	1,401	16,366	-	16,366
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3	92	95	△95	-
計	14,968	1,493	16,462	△95	16,366
セグメント利益	727	504	1,231	△718	513

(注) 1. セグメント利益の調整額△718百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△724百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当第1四半期連結会計年度のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「物流事業」セグメントにおいて、YSO Logi株式会社の株式取得に伴い、当第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、259百万円であります。

## Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	16,227	1,420	17,648	-	17,648
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3	103	107	△107	-
計	16,231	1,524	17,756	△107	17,648
セグメント利益	898	448	1,346	△777	569

(注) 1. セグメント利益の調整額△777百万円には、セグメント間取引消去4万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△781百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物流事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間にWorldgate Express Lines International Pvt Ltd から事業を譲受けたことにより、のれんの金額が増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、826百万円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。